

千田九一 あき 支那文學翻譯家。大正元年九月一日山口縣生乳。昭和
四十年十一月十一日没（一九三二—一九六五）。昭和十一年東京帝國大學文學部
支那文學科卒。日華學會理事、京華學園教諭、東京都立大學講師等歷
任。

譯著書、毛澤東著『現段階に於ける中國文藝の方向』（譯・新日本文
學會編、昭和二十一年十一月五日十月書房）、落華生作『葉の中の蜘蛛』
（譯、昭和二十一年一月十日實業舎「中國文藝叢書」）、郭沫若
著『訪ソ紀行』（譯、昭和二十七年十月十日日本出版協同株式会社）、
老舍作『東海巴山集』（譯、昭和二十八年六月二十日岩波書店「岩波
新書」）、こ千代の（と）（合著・田宮虎彦編、昭和二十一年十一月
五日刊）、『金瓶梅』全十冊（小野忍共訳、昭和四十八年六月十八日
一四十九年十一月十六日岩波書店「岩波文庫」）等。